

宇都宮市管工事業協同組合



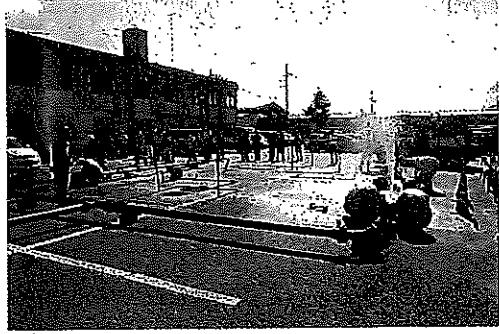
唐橋副理事長



和田理事長



仮設給水栓設置作業



配水管漏水修理作業



不断水バルブ工法作業

訓練を前に、和田理事長
は「大規模な災害が頻繁に
起きている中、災害時の応
急対応を迅速にすることが
重要。実践型の訓練を行おう」と述べた。

大田原協組の組合員ら社から5人が参加し、地震を想定した本道管復旧の実践的な訓練を行った。

宇都宮市管工事業協同組合（和田均理事長）と大田原管工事工業協同組合（大橋保理事長）は20日、2018年「応急復旧訓練」を宇都宮市平出工業団地の管工事会館で実施。宇都宮協組の組合員25社から約60人、大田原協組の組合員ら社から5人が参加し、地震を想定した本道管復旧の実践的な訓練を行つた。

地震想定し実践型訓練

大田原管工事工業協同組合と応急復旧訓練

管工事工業協同組合にも応
援請を行つた。

はじめに行われた仮設給
水栓設置作業では、100
mの配水管にサドル分水栓
で分歧し20mの給水管を配
管。仮設給水栓を設置し

た。

次に行われたのは配水管
漏水修理作業。破損した水
道本管による次の災害を防
止するため、専用機材を使
用し吹き上がった水道水を
止めた。

最後に行われたのは不断
水バルブ工法作業。通水状
態のまま分歧設置やバルブ
設置を行う画期的な工法を
披露した。

各作業班と大田原管工事
工業協同組合員は丁寧な心
講評で和田理事長は「予
長から和田本部長へ完了報
告がなされた。

急復旧作業を行い、中村勝
災害対策検討委員長に終了
報告。その後、中村委員
長から和田本部長へ完了報
告がなされた。

協力を願う」と述べた。

【日本工業経済新聞】2018.10.24掲載